

# 新しい供養スタイル提案

## 雑貨など企画開発・販売の カケル

雑貨などの企画開発・販売を手掛けるカケル（本社鈴鹿市三日市町960、眞弓卓也社長、電話059・337・8788）が販売するアロマオイル「いろ香（いろこう）」がじわり人気を集めている。線香でなじみのビャクダンの香りを配合したオイルで、日常の供養を現代風にアレンジした「アロマ供養」を提案。葬儀社を中心に仏壇仏具店などへの販路を広げ、2023年は前年比約3倍の約3万セットを販売した。24年は2倍の6万セットを計画する。（四日市・榊田宏行）



販売を伸ばしている「いろ香（Iroka）」

## アロマで現代風のアレンジ

の「緑茶・炊き立てご飯&ビャクダン」の2種類。両商品とも、精油製造販売大手の生活の木（本社東京都）と共同開発した。

カケルの取引先である葬儀社や仏壇仏具店で販売しており、価格はオイル単体が1本2千円程度、アロマストーンとのセット品が3千円程度。

カケルが行った葬儀後の遺族の心情や行動に関する調査によると、葬儀直後の遺族は日常生活に追われ「供養している時間がない」ことが分かった。同社は葬儀後49日間の過ごし方に焦点を充て、簡単かつ快適で安全に供養ができる方法としてアロマオイルを使った手段を考案。いろ香を商品化し、20年秋に第1弾を発売した。

眞弓社長は「火を使わないので災害対策にもなり、安心して使える」と話している。

優れ、煙も出さず煙の臭いが

服や髪に付く心配がない。

新しい供養スタイルとして

女性を中心に支持を獲得し

ている。

商品ラインアップは「ラ

ベンダー&ビャクダン」と

今年4月に発売した新商品

いろ香の使い方は専用石（アロマストーン）にオイルを2滴ほど垂らすだけ。火を使わないため安全性に